

(別冊 1)

令和 4 年度 事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	4
(3) ボランティアセンター運営事業	5
(4) 社協会員加入促進事業	6
(5) まごころ銀行運営事業	7

[新規] (6) 遺贈等寄付金受入事業	7
-----------------------	---

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8

(2) 地区社協育成事業

①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8

(3) 地域福祉活動啓発事業

①広報啓発事業	9
②若草福祉まつり開催事業	9
③障がい者理解啓発イベント開催事業	10
④懐かしの名画劇場開催事業（総合福祉センター管理・運営事業から事業移管）	10

(4) 地域交流支援事業

①地域交流サロン等活動支援事業	10
②道後温泉浴衣活用事業	11
③福祉団体助成事業	11
④子育て応援プロジェクト事業	11
⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業	11

(5) 見守り支援事業

①安心カードみまもり支援事業	12
②認知症高齢者ＳＯＳネットワーク事業	12
③まつやま支えあいフードバンク事業	12

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業	13
(2) 生活困窮者自立支援金給付事業	13
(3) 障がい者総合相談窓口事業	13
(4) 福祉サービス利用援助事業	14
(5) 福祉資金貸付事業	
①生活福祉資金貸付事業	15
②緊急小口資金等特例貸付事業	15
(6) 聴覚総合支援事業	
①聴覚総合相談事業	15
②手話通訳者設置事業	16
③意思疎通支援事業	16
④意思疎通支援者養成事業	17
⑤聴覚障がい者等生活訓練事業	17

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業	18
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業	19
(3) 北条社会福祉センター管理運営事業	20
(4) いきがい交流センターしみず管理運営事業	20
(5) 活動拠点整備事業	21

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業	
①愛の一声訪問事業	21
②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	21
③配食サービス事業	21
④福祉機器貸出事業	21
⑤かぎ預かり緊急時対応事業	21
(2) 介護予防促進事業	
①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業	22
②松山健康づくり体操教室事業	24
③まつやまシニアカレッジ事業	24
④北条文化の森いきいき講座事業	24

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・25
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・25
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・25
- ②自立支援型ケアマネジメント推進事業（旧事業名：ケアプラン評価等事業）・・・27
- ③介護サービス相談員派遣事業（旧事業名：介護相談員派遣事業）・・・・・・27

4 権利擁護センター事業

- (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・28
- (2) 中核機関整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- (3) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
- ②ボランティア養成講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- ③コミュニケーションスキルアップ講座事業・・・・・・・・30

【はじめに】

人口減少・少子高齢化の進行や家族扶助機能の低下など、地域住民を取り巻く環境が大きく変化する中、誰もが住みなれた地域で支え合い、自分らしく、生きがいをもって暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け、各種施策の充実が求められています。

こうした中、松山市社会福祉協議会では、松山市行政計画の「地域福祉計画」と一体となった「第4期地域福祉活動推進計画」（このまちのえがおプラン）に基づき、「みんなが つながる 支える まちづくり」を基本理念のもと、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動と連携、協働し、地域の社会資源を有効に活用しながら、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めました。

また、全国初の取り組みとして行政・社会福祉協議会・金融機関による遺贈に関する協定を締結し、相続や遺贈等の相談や、遺言書の管理等を支援するなど寄附文化の醸成に努めるほか、既存の枠に捉われないデジタルとアナログを融合させたハイブリッド形式（参加型、オンライン型の併用）の研修会の開催や広報活動の機能強化を図ることで、本会の特性である公平性・中立性・民間性を最大限に活かしながら、社会福祉協議会の理解者拡大と使命である地域福祉の一層の充実を図りました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

（1）社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成をはじめ、職員からの新規事業提案を募集するなど、職員の企画立案能力や意識向上を図った。また、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進を図るとともに、関係する規程等の変更を行い、労働環境整備等に努めた。

ア. 理事会の開催（定数：理事13名・監事2名）

開催日	議 案	出席者数
令和4年6月2日	令和4年度資金収支補正予算について 令和3年度事業報告について 令和3年度収支決算について 評議員選任・解任委員会外部委員の選任について 令和4年第2回評議員会の開催について 就業規則の一部改正について	11名
令和5年3月9日	令和4年度資金収支補正予算について 令和5年度事業計画について 令和5年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 会員規程の一部改正について 松山市まごころ銀行運営規程の一部改正について 退職手当等に関する規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 嘱託職員給与規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について パート職員就業規則の一部改正について 経理規程の一部改正について 役員等賠償責任保険契約について 評議員選任候補者の推薦について 令和5年第1回評議員会の開催について	15名

イ. 評議員会の開催（定数：評議員 22 名）

開催日	議 案	出席者数
令和 4 年 6 月 23 日	令和 4 年度資金収支補正予算について 令和 3 年度事業報告について 令和 3 年度資金収支決算について 役員の選任について	17 名
令和 5 年 3 月 23 日	令和 4 年度資金収支補正予算について 令和 5 年度事業計画について 令和 5 年度資金収支予算について 会員規程の一部改正について 役員の選任について	21 名

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催（定数：委員 6 名）

開催日	出席者数	議 案
令和 5 年 3 月 13 日	6 名	評議員の選任（5 名）について

エ. 実習生の受入等

実習種別	実習内容	学校数	人 数	目 標
社会福祉士	相談援助実習や臨地実習等	2 校	5 名	6 件：50 名
臨地実習	ふれあい・いきいきサロン活動等の現場実習	1 校	6 名	
地域看護実習	中島・新玉・浮穴地区での現場実習	1 校	11 名	
インターンシップ (就業体験)	市社協の事業説明	1 校	2 名	

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

各種事業を効率的に実施するため、整備されたパソコン等の情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

設置状況	台 数	設置場所
社協 L A N	88 台	本所 外 6 ヶ所
訪問調査業務	42 台	本所 外 3 ヶ所

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により償還促進に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数(実人数)	償還金額
低所得者小口資金	13 件 (169,000 円)	4 件(3 名)	12,000 円
母子家庭等小口資金	3 件 (146,000 円)	4 件(2 名)	25,000 円
合 計	16 件 (315,000 円)	8 件(5 名)	37,000 円

※令和 4 年度、低所得者小口資金償還完了者は 2 名、母子家庭等小口資金償還完了者は 1 名

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。また、各地区別の協力会員研修等の開催を積極的に支援し、協力会員への意識の醸成を図るとともに、地域関係団体等へチラシ配布を行うなど、新たな協力会員の確保に努めた。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
354 名	1,667 名	2,021 名

・活動状況

延べ派遣回数	延べ派遣時間数	延べ預託点数	概 要
5,927 回	7440.5 時間	14,881 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	概 要
福祉学習事業 助成	35 地区	2,626,000 円	80,000 円を限度に助成 (延べ実施回数 130 回)
活動計画策定 助成	5 地区	50,000 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度に助成
地区社協 チャレンジ事業	0 地区	0 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限に助成 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

項 目	概 要
実施地区	市内地区社協 (40 地区)
調査期間	令和 4 年 4 月 ～ 6 月
内 容	会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

エ. 地区社協だよりの発行

項 目	概 要
実施地区	38 地区/ 40 地区中
発行回数	60 回
内 容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発 (年 1 ～ 4 回発行)

(2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため生活支援コーディネーターを配置し、地域のニーズや地域資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

また、住民の地域活動にスポットを当てた「地域のお宝発表会 in まつやま」を開催し、地域の取り組みを関係者間で共有するなど、新たな社会資源の創設や事業の拡充に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項 目	概 要	実施回数等
第1層協議体 (市全域)	地域のお宝発表会 in まつやま (第1層協議体として開催) 開催日：令和5年1月25日 会 場：市総合福祉センター 1階大会議室	1回(目標1回) 参加者数：102名 (Youtubeにて配信)
第2層A協議体 (9ブロック)	開催日：令和5年3月2日 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室	9回 (目標9ブロック×1回) 参加者数：延べ55名
第2層B協議体 (40地区)	暮らし支え合う井戸端トーク	97回 40地区/ 40地区中 (目標40地区×1回)

イ. 地域資源の把握

項 目	概 要
地域のニーズと地域資源の把握	地区社協等、地域内の関係機関・団体と連携、協働し、協議体を活用しながら地域課題や取り組み等を共有
情報の整理及び見える化 (SNSの活用)	「へこまんくんといく！」 生活支援コーディネーターによる地域活動の取材および SNS (facebook・Instagram) を活用した啓発 (145件)

ウ. 地域支援体制の構築

項 目	概 要
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知に取り組んだ。

エ. 担い手の養成

項 目	概 要	参加者数
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	地域福祉リーダー養成講座 開催日：令和5年3月2日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室	40名(目標80名)
	地域つながりサポーター養成講座 開催日：令和5年2月22日 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室	13名(目標10名)

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働を図るとともに、関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集をはじめ情報紙やLINE等各種SNSを活用しタイムリーな情報の提供や周知啓発を行うなど、ボランティア活動の振興・拡大に努めた。また、市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に福祉体験学習を実施し、講師である当事者や支援者との交流を通じてボランティア活動の推進及び福祉観の醸成に努めたほか、大学生等の若い世代を対象に、若者たちの持っているスキルやノウハウを活用したボランティア活動を提案し、ボランティア活動に踏み出すきっかけ作りに努めた。

ア. 運営

項 目	概 要
松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等	運営協力および事業助成 ボランティアグループ相互の連携、協働及び情報交換等の実施

イ. 登録数

項 目	概 要
団 体	454 団体（目標 460 団体）・57,594 名（新規：18 団体・586 名）
個 人	2,950 名（目標 3,000 名）（新規：115 名）
災害支援 活動登録	個 人 227 名 協 定 1 校（大学）・10 社（企業）

ウ. 福祉体験学習

項 目	学校数等	延べ件数	延べ参加者数	概 要
小学校	41 校	76 件	6,975 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学习等 （目標 70 団体／130 件 10,000 名）
中学校	5 校	6 件	663 名	
その他	9 団体	11 件	531 名	
合 計	46 校・9 団体	93 件	8,169 名	

エ. 各関係機関のボランティア関係事業協力等

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関係機関・団体が実施する各種イベントの自粛・中止も見られたが、状況を踏まえた協力・支援を行い、ボランティア活動の場の提供や活性化に努めた。

主催団体	参加回数
まつやま NP0 サポートセンター運営協議会外 12 団体	19 回（目標 10 回）

オ. 情報提供・広報啓発

項 目	概 要
「おせったい通信」の発行	発行回数 12 回
	発行部数 各 3,600 部
	配 布 先 600 ヶ所 内訳：ボランティア（個人・グループ） 福祉関係団体、市関係機関、地区民協、 各大学、企業等

LINE 公式アカウント	登録者数	969 名（目標 1,000 名）
	送信回数	13 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	919 施設（目標 1,000 施設）
ホームページ	アクセス数	3,663 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	31 件

カ. 研修会・講座等の開催

講座名	概 要	参加者数
傾聴ボランティア 養成講座	開催回数：4 回（令和 4 年 9 月 29 日～10 月 27 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 講 師：米子香苗 氏（株式会社 Para ti 取締役）	36 名 （目標 30 名）
災害ボランティア 研修	開催回数：1 回（令和 5 年 1 月 14 日） 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 ほか 内 容：①《講義》 災害ボランティアの意義について 《グループワーク》 防災すごろく「助け合ってご〜」 ②《訓練》 車中泊のポイント！ 講 師：①栗原英文 氏（一般社団法人 FEEL Do 代表理事） ②蔭原政徳 氏（高浜地区自主防災連合会会長）	49 名 （目標 40 名）
若年層ボランティア リーダー養成研修 ※ボランティア交 流体験事業同時 開催	開催回数：7 回（令和 4 月 12 月～令和 5 年 3 月） 内 容：スマホアプリを使った障がい者理解のための動 画作成及び編集 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 ほか テ ー マ：「身体障がい者について」 講 師：井谷重人 氏（C I L 星空代表） 柴崎あい 氏（愛媛ボランティア学習研究会）	延べ 50 名 （目標 20 名）

キ. 防災とボランティアの日（災害ボランティアのパネル展示）

展示期間	概 要
令和 5 年 1 月 10 日～20 日	平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティア活動写真の展示

（４）社協会員加入促進事業

【自主事業】

社協だよりや各種事業等を通じて市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、継続加入並びに新規会員加入の拡大に努めた。

ア. 加入状況

会員種別	会員数	口 数	金 額	目 標	
個人会員 （個人）	1,822 名	2,181 口	2,181,000 円	(3,000 名)	3,000,000 円
特別会員 （団体）	186 団体	300 口	1,362,000 円	(500 団体)	2,500,000 円
賛助会員 （企業）	87 社	91 口	909,890 円	(150 社)	1,500,000 円
合 計	—	—	4,452,890 円	—	7,000,000 円

イ. 会員紹介状況

対 象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	58 名・75 団体・82 社
賛助会員 2 口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレット コーナーの活用	4 団体・33 社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄附を受け入れ高齢者や障がい者の福祉サービス事業に活用するとともに、物品については寄附者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行うなど、広く社会福祉の推進及び寄附文化の醸成に努めた。

ア. 受入状況等

種 別	目 標	受 入	件 数	受入・払出先
金 銭	4,600,000 円	3,439,917 円	46 件	市社協
物 品	—	りんご	2 件	児童福祉施設 4 ヶ所
	—	車いす	2 件	市社協
	—	住宅用火災警報器	1 件	地区民協
	—	その他	3 件	市社協

※えひめ中央農業協同組合 --- 23 商品の売り上げの一部を寄付 (83,499 円)

※感謝状の贈呈 (5 件)

(6) 遺贈等寄付金受入事業

【新規事業】 【自主事業】

銀行・信託銀行と締結した遺贈に関する協定書（令和 4 年 3 月締結）に基づき、松山市をはじめ各銀行等と連携を図り相続や遺贈等の相談、遺言書の管理等を支援するとともに新たな協定先との締結ならびにチラシの配布や研修会等を通じて、理解者の拡大と寄附文化の醸成に努めた。

項 目	概 要
協定式	名 称：松山市、松山市社会福祉協議会及び 愛媛信用金庫との遺贈寄附に関する協定 日 時：令和 4 年 10 月 6 日 15：00～15：15 会 場：松山市役所 本館 3 階 第 1 会議室 締結先：愛媛信用金庫
協定書締結先	松山市・伊予銀行・愛媛銀行・三井住友信託銀行・愛媛信用金庫
研修会の開催	名 称：相続・遺贈セミナー 日 時：令和 4 年 5 月 19 日（木）13：30～14：40 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 テーマ：遺贈寄附に関する取り組みについて 講 師：松山市納税課 伊予銀行・愛媛銀行・三井住友信託銀行 参加者：57 名

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を支給することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握に努めた。

項 目	申請者数	概 要
見舞金	109 名	327,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を支給することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

項 目	件 数	概 要
住宅火災等見舞金	14 件	280,000 円 (20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	5 件	100,000 円 (20,000 円 / 1 名)
合 計	19 件	380,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成し、地域福祉の推進に努めた。

助成先	助成額
市内全地区社協 (40 地区)	34,812,406 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を通じて、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化に努めた。

ア. 会議等

会議名	概 要	参加者数
地区社連 会長・事務 局長連絡会	第 1 回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 80 名)
	第 2 回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小 開 催 日：令和 4 年 7 月 27 日 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 内 容：研修会・事務連絡等 演 題：「地域福祉の推進における地域カルテの役割と 意義について」 講 師：村岡則子 氏(聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授)	会長または 事務局長 40 名 (目標 80 名)
ブロック 会議	開催回数：9 回 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 内 容：①コロナ下における地区の取組みについて ②コロナ後の地域活動について	40 名 (目標 40 名)

イ. 研修会

研修会名	概 要	参加者数
地域福祉リーダー養成講座	開 催 日：令和5年3月2日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内 容：グループワーク等 テ ー マ：「コロナ後の地域活動について」 講 師：上野谷加代子氏 (大阪市ボランティア・市民活動センター所長)	援護部長等 40名 (目標40名)

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①広報啓発事業

社協だよりの発行や、各種 SNS・YouTube を活用した広報活動等を通じて市社協事業等の紹介を行った。また、ホームページを市民にとって見やすいデザインへとリニューアルするとともに、新たに公式 LINE を開設し、より一層の福祉活動の啓発に努めた。

項 目	概 要		
社協だよりの発行	年 2 回（約 243, 500 部 / 1 回）		
ラジオ放送	年 4 回（南海放送「みんなの松山」）		
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚（共同募金・日本赤十字社啓発用）		
ホームページの運営	ア. 松山市社会福祉協議会（103, 824 件）（目標 135, 000 件） イ. 松山市ボランティアセンター（26, 898 件）（目標 15, 000 件） ウ. いきがい交流センターしみず（1, 397 件）（目標 1, 500 件） エ. まつやまバリアフリーマップ（3, 663 件）（目標 7, 000 件）		
Facebook・Instagram への掲載	市社協活動や地域行事等の紹介		
	SNS	登録者数	投稿件数
	Facebook	953 名（新規 167 名）	332 件（目標：100 件）
	Instagram	580 名（新規 196 名）	332 件（目標：100 件）
YouTubeの運営	市社協活動等の紹介 登録者数 177 名（新規登録者数 35 名） 投稿件数 5 件（目標 5 件） オンライン研修会・発表会等ライブ配信 2 件		
公式LINE	市社協活動等の紹介 登録者数 314 名（新規登録者数 43 名） 投稿件数 7 件（目標 12 件）		
LINEスタンプ【新規】	販売個数 175 個（目標 50 個）		

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり2022」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③障がい者理解啓発イベント開催事業

12月3日からの「障害者週間」にちなみ、障がい者の自立及び社会参加の支援等を行う「発達障がい者就労支援研修会」を同時に開催するとともに、就労継続支援事業所等の参加により、障がい者を支える地域活動の普及啓発の拡充を図ることや地域共生社会の実現に向けた取組を行っていくことを目的に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④懐かしの名画劇場開催事業（総合福祉センター管理・運営事業から事業移管）

日本の名作映画を上映することにより高齢者等の社会参加、生きがいづくりを促進するとともに優れた映画に触れることで、松山市における文化振興を図ることを目的に開催した。

概 要	延べ参加者数
開 催 日：令和4年12月3日 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室 上映作品：①煙突の見える場所 ②この広い空のどこかに ③名もなく貧しく美しく ④裸の島	456名 （目標1,200名）

（4）地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン及び農園サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の増進に努めた。また、各家庭でプランター菜園を行い、参加者同士が交流を図る「オンラインサロン」等、コロナ禍における柔軟なサロン活動を展開することで介護予防や孤立予防の推進に努めた。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	概 要
21 サロン （目標56サロン）	904,000 円	[交流] 1サロン：1開催3,000円(12回を限度) [農園] 1サロン：年間40,000円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数		実施回数	延べ利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	30 サロン	(目標 40 サロン)	204 回	2, 878 名	14. 1 名
子育てサロン	8 サロン	(目標 11 サロン)	32 回	568 名	17. 8 名
障がい者サロン	1 サロン		12 回	108 名	9 名
合 計	39 サロン		248 回	3, 554 名	14. 3 名
農園サロン	4 サロン (目標 5 サロン)				
オンラインサロン	3 サロン (目標 2 サロン)		2 回	27 名	13. 5 名

※2ヶ月（4・5月）は活動中止、再開後も少人数・短時間で開催

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の製作を行い、障がい者等の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPR等に努めた。

項 目	概 要	販売数
松山トリコ製品	○おじゃみクッション ○エコバッグ ○湯玉トートバック（Lサイズ・Sサイズ） ○紙の湯カードケース（シングル・ダブル） ○湯あがりコースター ○湯あがりカバー	3 個（目標 10 個） 37 枚（目標なし） 31 枚（目標 20 枚） 58 枚（目標 100 枚） 28 枚（目標 100 枚） 12 枚（目標 100 枚）
イベントへの出店	ア. 名 称：FLOWER WORKSHOP 日 程：令和 4 年 12 月 10 日 会 場：上人坂坂下広場（松山市道後湯月町） 主 催：持続可能な道後温泉協議会 イ. 名 称：第 26 回一遍上人生誕祭 日 程：令和 5 年 3 月 19 日 会 場：上人坂坂下広場（松山市道後湯月町） 主 催：道後温泉誇れるまちづくり推進協議会	

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動の支援に努めた。

助成団体数	助成額
9 団体（松山市身体障害者協会等）	340,000 円

④子育て応援プロジェクト事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、参加者同士が交流を図り様々なイベントを体験してもらい子育て世帯等への支援に努めた。

概 要	参加者数
開催日：令和 5 年 2 月 18 日 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室 内 容：・ワークショップ 「はんこペタペタ マイバッグ&オリジナルカードを作ろう！」 ・キッズシネマ ・ミニ子ども服おさがり交換会	41 名 （大人 21 名、 こども 20 名）

⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業

子どもたちがともに遊び育ち合う場とするとともに、子育て中の親が気軽に集える場を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実に努めた。

登録者数	活用事例
12,802名（新規：324名） （目標 12,600名）	12件（累計191件：平成23年7月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症5件、中等症5件、重症2件、不搬送0件、死亡0件

②認知症高齢者SOSネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明となった高齢者の早期発見・保護に努めた。

搜索協力者登録数		登録数	実施件数
個人	1,634名（新規：77名/目標100名）	624名 （新規：62名 /目標80名）	搜索依頼 13件 メール配信 8件 （配信累計95件※） ※平成25年度より
企業・団体	313団体（新規：8団体/目標25団体）		

③まつやま支えあいフードバンク事業

団体・企業等に食料品の提供協力を求めるとともに、生活困窮者等に対し緊急的に食料を提供できるよう協力体制の整備を行った。また、併せて安定的な食料品の確保ができるまでの緊急措置として、状況に応じ食料品を提供することで、利用者の不安解消や生活基盤の自立に向けた支援に努めた。

項目	概要	支援件数
保管場所	市総合福祉センター等	延べ支援人数 288名（目標250名） 延べ支援提供数 4,715食（目標2,000食）
支援団体・企業	①（有）プランネット ②（株）セキュリティエヒメ ③三井住友海上火災保険（株） ④えひめフードバンク愛顔中予事務局 ⑤特別養護老人ホーム 和光苑 ⑥社会福祉法人和光会 和光苑ゆうぐん ⑦松山市防犯協会 ⑧松山市役所 環境モデル都市推進課	
支援食料	お米・缶詰・レトルト食品・インスタント食品・水・カンパン等 ※未開封・賞味期限3箇月以上・常温保管可能・製造者表記・アレルギー表示のあるもの	

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援に努めた。

項 目		対応件数等	概 要
新規相談受付件数（総数）		811 件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む
継続相談件数		3,986 件	
延べ相談件数（総数）		4,797 件	
支援計画（プラン）作成件数（総数）		140 件	支援調整会議 133 回
就労支援対象者数 （プラン期間中の一般就労を目標にしている）		104 件	
法に基づく事業 等利用件数	住居確保給付金	62 件	1 つの支援計画（プラン）作成において、住居確保給付金、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む
	一時生活支援事業	5 件	
	就労準備支援事業	2 件	
	自立相談支援事業による就労支援	123 件	
その他	生活福祉資金等による貸付	14 件	
	生活保護受給者等就労自立促進事業	92 件	
一般就労者数		92 名	プラン未作成者 45 名を含む
増収者数		10 名	

(2) 生活困窮者自立支援金給付事業

【市受託事業】

新型コロナウイルス感染症の長期化による生活困窮者への支援として、緊急小口資金等特例貸付制度が貸付限度額に達した世帯等を対象に、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の相談窓口を設置し、給付申請の受付業務を行うとともに、就労等の自立支援に努めた。

申請内容	相談件数	申請件数
生活困窮者自立支援給付金	3,466 件	679 件

※令和 3 年 7 月 1 日より申請受付開始

※申請受付：令和 4 年 12 月 31 日終了

(3) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援・助言を行い課題解決に努めた。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合 計
延べ件数	227 件	886 件	397 件	1,296 件	264 件	18 件	3,564 件	15 件	6,667 件

※その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

() 内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
延べ件数	2,284 件 (2,284)	29 件 (29)	783 件 (783)	803 件 (803)	14 件 (14)	51 件 (51)	1,418 件 (1,418)

	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合 計
延べ件数	307 件 (307)	108 件 (108)	7 件 (7)	82 件 (82)	304 件 (304)	6,190 件 (6,190)

ウ. 研修会の開催

項 目	概 要	参加者数
松山市障がい者虐待防止等研修会	開催回数：2回（令和4年8月4日 午後・夜間） 開催方法：オンライン テ ー マ：イライラ・怒りとの上手なつきあい方～アンガーマネジメントを虐待防止に活かす～ 講 師：石井真奈 氏（まなのき）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 申込者数 199 名 （目標 250 名）
松山市発達障がい者就労支援研修会	開 催 日：令和5年3月16日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 講 演：発達障がいのある方への就労支援とグレーゾーンの方の対応について 講 師：吉本美穂 氏（人間環境大学 准教授）	一般企業の方 参加者数 17 名 （目標 250 名）
松山市障がい者差別解消法研修会	開催回数：2回（令和4年12月15日 午後・夜間） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テ ー マ：社会モデルから考える障害者差別解消法 講 師：井谷重人 氏（C I L 星空 代表）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 参加者数 78 名 （目標 100 名）

（4）福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	4 件 (新規 1 件) (終了 2 件)	28 件 (新規 2 件) (終了 2 件)	47 件 (新規 6 件) (終了 6 件)	4 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	83 件（目標 90 件） (新規 9 件) (終了 10 件)

※ () 内は、令和4年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
11 名	1,146 回	1,100 時間

(5) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援に努めた。

①生活福祉資金貸付事業

申請内容	相談件数	申請件数
ア. 総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	60 件	0 件 0 件 0 件
イ. 福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	592 件	16 件 6 件
ウ. 教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	96 件	9 件
エ. 不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	52 件	0 件 0 件
オ. その他（償還猶予申請等）	0 件	3 件
カ. 臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件
合 計	800 件	34 件

②緊急小口資金等特例貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に、安定した生活が送れるよう経済的自立の支援を目的とし、生活困窮者自立支援事業と連携した効果的な相談支援により、相談と貸付を組合せて問題解決、生計回復や自立を目指した生活意欲の助長促進に努めた。

申請内容	相談件数	申請件数
ア. 緊急小口資金	1,432 件	542 件
イ. 総合支援資金	930 件	495 件
合 計	2,362 件	1,037 件

※申請受付：令和4年9月30日終了

(6) 聴覚総合支援事業

【市受託事業】

①聴覚総合相談事業

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を図りながら総合的支援に努めた。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	その他	合計
延べ件数	2,489 件	4,414 件	4,403 件	106 件	11,412 件

イ. 支援内容（連絡調整含む）

（ ）内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延べ件数	1,386 件 (1,386)	13 件 (13)	597 件 (597)	60 件 (60)	1 件 (1)	82 件 (82)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延べ件数	86 件 (86)	827 件 (827)	73 件 (73)	140 件 (140)	5 件 (5)	1,875 件 (1,875)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延べ件数	4,378 件 (4,378)	26 件 (26)	1,514 件 (1,514)	349 件 (349)	11,412 件 (11,412)

ウ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

概 要	件 数
愛媛大学、松山大学 ほか	142 件

②手話通訳者設置事業

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意思疎通の支援に努めた。

内 容	身体障害者手帳等	補装具等	日常生活用具等	障害福祉サービス	介護保険	生活保護	医療保険	年金手当	就労	教育	住居	税	窓口手続証明等	窓口手続証明以外等	相談	その他	合計
件数	31 件	21 件	37 件	55 件	22 件	4 件	142 件	22 件	38 件	4 件	16 件	47 件	22 件	296 件	49 件	326 件	1,132 件

③意思疎通支援事業

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者の派遣に努めた。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

	個人に対する派遣										大会等派遣	合 計
内 容	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件 数	2, 122 件	2, 232 件	139 件	15 件	29 件	14 件	31 件	1 件	322 件	4905 件	43 件	4, 948 件

イ. 研修会の開催

項 目	概 要	参加者数
登録手話通訳者・要約筆記者研修会	開催回数：12回（令和4年4月25日～令和5年3月27日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室ほか 内 容：意思疎通支援制度・技術実習等（Zoom 対応有り）	352名

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項 目	概 要
受診者数	27名（手話通訳者16名、要約筆記者4名、手話・要約筆記者7名）

④意思疎通支援者養成事業

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導に努めた。

講座名		開催回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40回 ・ 夜間 40回	午前 9名・夜間 10名
	手話通訳Ⅰ	午前 39回 ・ 夜間 39回	午前 7名・夜間 8名
	手話通訳Ⅱ	午前 36回 ・ 夜間 36回	午前 6名・夜間 4名
	手話通訳Ⅲ	午前 16回 ・ 夜間 16回	午前 4名・夜間 7名
要約筆記者養成講座（手書き・PC）		45回	5名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面・オンラインを併用して実施

イ. 松山市全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保に努めた。

概 要	受験者数
実 施 日：令和5年2月19日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室ほか	6名（内合格者1名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域において生活能力を高めるなど社会参加の促進に努めた。

項 目	概 要	延べ利用者数
生活支援訪問	訪問回数：126件 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	407名 （目標 400名）
中途失聴者・難聴者の手話講座	開催回数：昼の部 38回・夜の部 39回 開催期間：令和4年5月17日～令和5年3月14日 内 容：手話学習と仲間づくり、くらしに関する手話、冠婚葬祭に関する手話 等	362名 （目標 340名）
くらしセミナー	開催回数：9回（令和4年6月20日～令和5年3月20日） 内 容：消費生活トラブル・法律相談・だまされないために等	123名 （目標 100名）

【 公益事業 】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営に努めた。

ア. 利用状況

延べ利用団体数	延べ利用人数	内容等
6,704 団体 (目標 8,800 団体)	111,353 名 (目標 220,000 名)	施設見学 2 団体 38 名 有料利用 6 件 260 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間閉館や、一部利用制限を実施

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

項 目	概 要	参加者数
地域福祉活動に関する講演会	開催日：令和 5 年 3 月 2 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 演 題：つながりの再生と生き活きくらせる地域づくり 講 師：上野谷加代子 氏（大阪市ボランティア・市民活動センター所長）	155 名 (目標 300 名) Youtube アーカイブ配信視聴数 157 回
認知症に関する講演会	開催日：令和 4 年 9 月 17 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 内 容：認知症サポーター養成講座	94 名 (目標 250 名)
福祉センター映画鑑賞推進事業	開催日：令和 4 年 11 月 12 日（2 回上映） 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 内 容：千と千尋の神隠し	第 1 部 68 名 第 2 部 82 名

ウ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2022」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のイベント開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進に努めた。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合 計
保 管 数	1,191 冊	103 冊	3 本	159 本	102 枚	1,558 点
貸出件数	18 件	0 件	0 件	4 件	16 件	38 件

オ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大に努めた。

概 要		実施期間等
ロビー展等	ア. 発達障がい関係団体活動紹介パネル展示	令和4年4月2日～30日
	イ. 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例貸付制度の案内の設置	令和4年4月1日～9月30日
	ウ. 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の案内・受付窓口の設置	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	エ. オレンジロード展示(オレンジガーデニングプロジェクト)	令和4年9月12日～30日
	オ. 赤い羽根共同募金ポスター展示他	令和4年10月1日～令和5年3月31日
	カ. サロンまるごと美術館 ～A4用紙の中の小さな世界～	令和4年11月18日～29日
	キ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	令和4年12月12日～16日
	ク. 防災とボランティア週間パネル展示 (平成30年西日本豪雨災害ボランティア)	令和5年1月10日～20日
募金箱の設置	ア. 日赤活動資金募集	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	イ. 赤い羽根共同募金	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	ウ. 令和4年3月福島県沖地震災害義援金	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	エ. ウクライナ人道危機救援金	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	オ. 2022年アフガニスタン地震救援金	令和4年6月27日～9月30日
	カ. 令和4年7月大雨災害義援金	令和4年8月16日～10月30日
	キ. 令和4年8月3日から大雨災害義援金	令和4年8月22日～令和5年3月31日
	ク. 2022年パキスタン洪水救援金	令和4年9月30日～11月30日
	ケ. 令和4年度NHK海外たすけあい	令和4年12月1日～25日
	コ. 2023年トルコ・シリア地震救援金	令和5年2月13日～令和5年3月31日
その他	ア. ご意見箱の常設(1階・4階・5階)	令和4年4月1日～(平成19年8月1日設置)
	イ. 豪雨災害支援等ベルマーク収集箱設置	令和4年4月1日～(平成23年9月1日設置)
	ウ. 市総合福祉センターのライトアップ 世界自閉症啓発デー(ブルー) 世界アルツハイマーデー(オレンジ) 赤い羽根共同募金運動(レッド)	令和4年4月2日 令和4年9月21日 令和4年10月1日

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの適正な維持・管理に努めた。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
36台	57,106名	2,006団体	1,492社

(3) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営に努めた。

延べ利用団体数	延べ利用者数
1,675 件（目標 2,500 団体）	9,819 名（目標 16,000 名）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間閉館や、一部利用制限を実施

(4) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に努めた。

ア. 地域交流事業

項 目	対 象	開催回数	延べ参加者数
友遊しみず (月・木曜日 9:30～ 11:30)	介護保険対象外の概ね 65 歳以上の方	74 回 (目標 90 回)	845 名 (目標 1,550 名)
交流授業	清水小学校児童	26 回 (目標 50 回)	1,950 名
地域交流イベント	清水小学校児童・ 保護者等	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	— (目標 80 名)
しみずサポートボランティア の活動	高校生・大学生等	183 回	317 名

イ. 講座等の開催

項 目	概 要	延べ参加者数
シニアライフ 講座	開催回数：9 回（令和 4 年 5 月 25 日～ 7 月 20 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 2 階 交流室 1 内 容：介護保険制度、財産管理と遺言、認知症、介護者の ストレスケア、成年後見制度、終活等 9 テーマ	73 名 (目標 200 名)
終活のススメ 講座	開催回数：4 回（令和 5 年 1 月 18 日～ 2 月 8 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 2 階 交流室 1 内 容：人生の振り返り、ことづて帖の作成、知りたい 終活（遺言・任意後見）・私らしい終活	35 名 (目標 36 名)

ウ. 視察対応

概 要	人 数（団体数）
事業概要、地区社協・小学校との協働・ 連携、児童と高齢者・地域住民との交流 等について	23 名（5 団体）

エ. 実習生の受入

実習種別	実習内容	学校数	人 数
教育実習	社会教育ボランティア実習・社会教育実践活動	1 校	2 名
地域連携実習	清水小交流授業・福祉体験等のボランティア活動	1 校	6 名

(5) 活動拠点整備事業 【自主事業】

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

拠 点	概 要
えひめ中央農業協同組合桑原支所 1 階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業 【市補助事業】

77 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週 2 回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消に努めた。

実利用者数	延べ訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,603 名	254,884 回	356 名	646 件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業 【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年 4 回の出張理容サービスを実施（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減に努めた。

利用券交付者数	延べ利用者数	新規申請者数
9 名	22 名	3 名

③配食サービス事業 【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、1 日 1 食（昼又は夕）の食事サービスを提供し、利用者の心身の負担軽減や安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者 10 社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上に努めた。

実利用者数	延べ配食数	新規申請者数
699 名	182,531 食	358 名

④福祉機器貸出事業 【市補助事業】

在宅で介護を受けている 64 歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者 4 社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上に努めた。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
8 件	5 件	2 件

※新規申請 4 件、返却 2 件

⑤かぎ預かり緊急時対応事業（かぎ預かり SOS） 【自主事業】

市内在住の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者で、市社協個人会員（1 口 1,000 円/年）に加入し、本事業の利用希望者を対象に、玄関等の鍵を預かり、生命に関わる等の緊急事態時に鍵を使って家屋内に立ち入り安否確認等を行えるよう体制づくりに努めた。

登録者数	安否確認件数
24 件（内新規登録者数 13 件）	0 件

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65 歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援に努めた。また、コロナ禍での安心・安全なサロン実施に向けて、「新型コロナウイルス感染回避に配慮したサロンの実施について（留意点）」を示し、実施方法等の情報提供を行うとともに、サロンの拠点にて脳トレ資料等の配布を行う「てくてくデイ」の実施や、時間を短縮した「ミニサロン」等、柔軟なサロン活動を展開した。併せて休止中のサロンに対し脳トレ資料の郵送を行う等、介護予防、フレイル予防、孤立予防の推進に努めた。

ア. 規模別サロン数

規 模 回 数	小規模	中規模	大規模	基幹型	合 計
月 2 回	41	52	3	0	96
月 3 回	7	10	1	0	18
週 1 回	17	23	0	0	40
週 2 回	3	0	0	1	4
週 3 回以上	0	0	0	1	1
合 計	68	85	4	2	159

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65 歳以上）	4,031 名
延べサロン開催回数	3,557 回
延べサロン参加者数	50,800 名
サロン活動登録者数（65 歳以上） サロン参加者数（64 歳以下）	(48,880 名) (1,920 名)

※2ヶ月（5・6月）は活動中止、再開後も少人数・短時間で開催

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	実施サロン数	延べ実施者数
①開眼片足立ち（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定） ＊①②どちらかの測定のみも可能	50 サロン	664 名 内訳：①②両方：587 名 ①のみ：64 名 ②のみ：13 名

エ. サロン交流会の開催

概 要	参加者等
開催回数：4 回（令和 4 年 10 月 26 日～12 月 14 日） 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 市北条社会福祉センター 2 階 大会議室 内 容：四国てくてく体操の解説、実技指導、レクリエーション 紹介、情報交換会等	延べ 160 名

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援に努めた。

項 目	回数（予定）	延べ利用者数	平均利用者数	実施内容
釣 島	3 回（8 回）	32 名	10.6 名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	4 回（8 回）	15 名	3.75 名	

カ. まちなかサロン実施状況

開催回数	36 回
延べサロン参加者数	332 名
65 歳以上の参加者数	(332 名)
64 歳以下の参加者数	(0 名)

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 167 サロン
調査期間	令和4年4月1日～10月25日

ク. 広報啓発等

項 目	概 要
ふれあい・いきいきサロン通信の発行	3 回（約 750 部 サロン関係者等への送付）

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	97 種類 479 個	169 件
DVD 等	35 タイトル 97 枚	10 件
プロジェクター	2 台	47 件

コ. デジタル化推進業務

項 目	サロン数等	参加者数等
タブレット教室	31 サロン	延べ参加者 337 名
タブレット体験	1 回	延べ参加者 10 名
オンラインサロン	3 回	参加者 22 組
複数サロン間オンライン交流イベント	6 回	延べ 121 名
サロン LINE 公式アカウント	配信 33 回	登録者 222 名
介護予防情報 SNS 配信	ア. おうちでエンジョイへこまん生活 イ. サロンからこんにちは ウ. てくてく日記 エ. その他（交流会・研修等）	12 回 12 回 93 回 21 回

サ. 出前サロン

概 要	参加者数
開催回数：5 回（令和 4 年 7 月 3 日～5 年 3 月 29 日） 開催地区：石井西、立岩、湯築、道後 対 象 者：地区社協関係者等 内 容：介護予防メニュー体験、レクリエーション、「通いの場」の啓発	71 名

シ. 緩和型サロンモデル実施

ふれあい・いきいきサロン等の開催要件を満たすことが難しく、サロンの継続や新規立ち上げが困難となっている方を支援するため、令和 5 年度の本格的な実施に向けモデル的に実施した。

実施サロン数	延べ参加者数
10 サロン	1,638 名

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に体操教室を実施し、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続に努めた。

概 要	延べ参加者
開催回数：20 回（令和 4 年 11 月～令和 5 年 2 月） 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室	653 名（目標 4,400 名）

③まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を行うとともに、受講者のボランティア活動や地域福祉活動への参加促進に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④北条文化の森いきいき講座事業

【自主事業】

北条圏域の地域福祉拠点である「北条社会福祉センター」を活用し、参加者の生きがいや健康づくりを図るとともに、北条文化の森健康づくり体操教室では高齢者の身体機能の維持向上や、介護予防及び自立性を高めた日常生活の維持や社会参加の促進に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部プログラムを変更して開催した。

事業名	概 要	延べ参加者数
北条文化の森 いきいき講座事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 180 名)
北条文化の森 健康づくり体操 教室事業	開催回数：10 回(令和 4 年 11 月 16 日～令和 5 年 2 月 22 日) 会 場：市北条社会福祉センター 2 階大会議室 内 容：マットやボール等を使った体操、健康指導、 血圧測定等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部変更	181 名 (目標 1,700 名)

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に努めた。

調査内容	申請件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	30,694 件	18,350 件	18,325 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業【市受託事業】	102 件	96 件	96 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業【他市町村等受託事業】	699 件	646 件	646 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,639 件	1,632 件	1,632 件

※要介護申請数（コロナによる期間延長・取り下げ含む）

※申請・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となるため

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	設置数	延べ訪問回数
小規模多機能型居宅介護	54 施設	1 回
地域密着型特別養護老人ホーム	22 施設	8 回
地域密着型通所介護	87 施設	21 回
通所介護	131 施設	29 回
グループホーム	127 施設	18 回
認知症対応型通所介護	14 施設	8 回
介護老人福祉施設	26 施設	4 回
短期入所生活介護	61 施設	7 回
介護老人保健施設	15 施設	10 回
通所リハビリテーション	458 施設	8 回
合 計	995 施設	114 回

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	79 回

ウ. 集団研修等の開催

項 目	概 要	参加者数
集団研修	生活支援型訪問サービス従事者養成研修・介護に関する入門的研修（基礎編） 日 時：令和4年9月7日・14日 場 所：市総合福祉センター 5階 交流室 講 師：矢川ひとみ 氏（松山市基幹型地域包括支援センター統括指導官） 三好魅 氏（松山市介護保険課 保健師）	6名
	施設長・管理者・リーダー研修会 日 時：令和4年10月14日 場 所：市総合福祉センター 5階 中会議室 演 題：イライラ・怒りとの上手な付き合い方～介護現場で活用したいアンガーマネジメント～ 講 師：石井真奈 氏（まなのき）	23名
出前講座	介護職員スキルアップ研修Ⅰ 日 時：令和4年11月16日 場 所：市総合福祉センター 1階 大会議室 演 題：ノーリフティングケアとは ～本当の意味でのノーリフティングケアって何だと思えますか～ 講 師：守谷理佐 氏・井下ゆかり 氏（愛媛県介護実技普及指導員）	23名
	介護職員スキルアップ研修Ⅱ 日 時：令和4年12月7日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：認知症の方とのコミュニケーション 講 師：二宮浩 氏（特別養護老人ホームつわぶき荘）	32名
	介護職員スキルアップ研修Ⅲ 日 時：令和4年12月14日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：介護サービス事業者における感染対策 ～新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス～ 講 師：若林美代子 氏 （愛媛県立中央病院 感染管理認定看護師）	25名
ケアプラン研修	第1回 ケアプラン研修会 日 時：令和5年1月27日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：居宅介護支援の押さえどころ～根拠のない「伝承」からの脱却～ 講 師：成澤正則 氏（介護支援センター「よつばの里」管理者）	83名
	第2回 ケアプラン研修会 日 時：令和5年2月10日 場 所：オンライン研修（Zoom） 演 題：「運営基準に基づいた施設サービス計画の作成方法」 講 師：成澤正則 氏（介護支援センター「よつばの里」管理者）	31名

②自立支援型ケアマネジメント推進事業（旧事業名：ケアプラン評価等事業）

【市受託事業】

高齢者の住み慣れた地域での自立生活への支援に資することを目的として、事例提供をもとに地域包括支援センター単位で検討会議を毎月開催し、自立支援・介護予防の観点から多職種の専門的な視点に基づく助言やモニタリング会議を通じて、対象者の生活上の課題解決・改善等を図るとともに生活の質の向上に努めた。

項 目	概 要
開催回数	11 回（4 月はデモ開催。モニタリング会議は 11 月から開催。）
検討委員	12 名（リハビリの専門職、看護職（訪問看護）、栄養士、歯科衛生士 各 3 名） 1 回の会議につき 4 名が参加（各専門職から 1 名ずつ）
対象事例	22 事例 （担当地域包括支援センター圏域内に居住する新規（6 ヶ月以内）に要支援又は要介護 1・2 の認定を受けた者。要支援、要介護から各月 1 事例ずつ）
内 容 等	・「その人らしい生活」への支援を強化 ・介護保険制度の理念「尊厳の維持」「自立支援」の考え方を全体で共有 ・多職種と「ネットワークの構築」が出来る機会の創出 ・専門職及びサービス提供事業所等、参加者のスキルアップ ・検討会議を通して地域に不足している社会資源を把握

③介護サービス相談員派遣事業（旧事業名：介護相談員派遣事業）

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場へ介護サービス相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、登録相談員に対し、現任研修への参加や連絡会の実施により、相談活動に必要な知識・技術のスキルアップや意欲の向上に努めた。

ア. 実施状況

登録相談員	施設訪問回数	延べ派遣相談員数	相談件数
20 名	7 施設（17 回）	34 名	84 件

イ. 介護サービス相談員連絡会の開催

概 要	参加者
開催回数：3 回（令和 4 年 7 月 28 日、令和 5 年 1 月 18 日、3 月 7 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階 中会議室ほか 内 容：事業の実施状況について、相談活動に関する意見交換・交流、 笑いヨガ、八幡浜市の相談員との意見交換、各市の事業報告等	延べ 16 名

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各種研修会の開催やパンフレットの作成・配布することで、成年後見制度の周知啓発に努めた。また、地域住民が後見等業務の新たな担い手として活動できるよう育成及び支援に努めた。

ア. 主な活動

項 目	概 要	件数等
相談支援（一般相談）	相談受付件数	178 件
成年後見制度普及啓発	各種イベント参加件数・講師派遣等件数	8 件
	パンフレット配布部数	3,530 部
成年後見制度担い手養成等	市民後見制度普及啓発件数	1 件

イ. 研修会の開催

講座名	概 要	参加者数
成年後見制度 実務者研修	開 催 日：令和4年11月30日 開催方法：オンライン開催（Zoom 配信） 内 容：「任意後見制度と相続・遺言」 講 師：谷本亜希美氏（公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートえひめ支部）	オンライン 56 名
権利擁護市民 セミナー	開 催 日：令和4年9月30日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 開催方法：ハイブリッド開催（Zoom 配信） 内 容：「知ってよかった！成年後見制度」 講 師：山岸義和 氏（かちまち法律事務所） ※市民後見人養成フォローアップ研修会と同日開催	会場 24 名 オンライン 46 名 合計 70 名
市民後見人 養成フォロー アップ研修会	開 催 日：令和4年9月30日 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室 開催方法：ハイブリッド開催（Zoom 配信） 内 容：「事例で解説！やってみよう後見事務」 講 師：山岸義和 氏（かちまち法律事務所） ※権利擁護市民セミナーと同日開催	会場 20 名 オンライン 42 名 合計 62 名 （内8名が 市民後見人養成 講座修了者）

(2) 中核機関整備事業

【市受託事業】

判断能力が十分ではない人が成年後見制度を適切に利用できるように、「成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成28年法律第29号）に基づく中核機関として、各関係機関及び団体と連携し、成年後見制度の利用促進に努めた。

ア. 相談支援（専門相談）

概 要	件数等
延相談支援件数	193 件
相談受付件数	115 件
成年後見制度利用申立支援件数	23 件
後見等受任団体紹介件数	1 件
後見人等支援件数	2 件
専門職相談件数（成年後見制度専門職相談） 【弁護士相談：23 件、司法書士相談：20 件、行政書士相談：9 件】	52 件

イ. 地域ネットワーク活用

項 目	概 要
成年後見制度利用 支援委員会	開催回数：10 回（令和 4 年 5 月 19 日～令和 5 年 3 月 16 日） 会 場：市総合福祉センター 3 階 コミュニティルーム 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士他 内 容：市長申立対象案件における成年後見人等候補者の選定 について等

ウ. 地域ネットワーク構築に向けた取組み

項 目	概 要
成年後見制度 利用促進に関する 意見交換会	開催回数：3 回（令和 4 年 7 月 21 日、10 月 20 日、令和 5 年 1 月 19 日） 会 場：市総合福祉センター 3 階 コミュニティルーム 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士、松山家庭裁判所 内 容：専門職団体のマンパワー不足について等

（3）法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 受任件数

	後 見	保 佐	補 助	合 計
件 数	15 件 (新規 0 件) (終了 3 件)	1 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	0 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	16 件 (新規 0 件) (終了 3 件)

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

法人後見支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
3 名	90 回	224.5 時間

5 広報啓発事業

（1）福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者数の制限及び式典の時間を短縮して開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進に努めた。

大会名	概 要	参加者数
令和 4 年度 松山市福祉大会	開 催 日：令和 4 年 9 月 1 日 会 場：松山市民会館 大ホール 内 容：○表 彰 353 名・28 団体 ○群読発表 発表校：済美平成中等教育学校 放送部 松山市立小野中学校 生徒会	508 名

②ボランティア養成講座事業

【市受託事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進に努めた。

講座名	開催回数	修了者数
点 訳	初級 20 回・中級 20 回	初級 2 名・中級 2 名
手 話（午前）	入門 19 回・基礎 23 回	入門 13 名・基礎 10 名
手 話（夜間）	入門 19 回・基礎 23 回	入門 21 名・基礎 12 名
朗 読	初級 12 回・中級 13 回	初級 15 名・中級 15 名

③コミュニケーションスキルアップ講座事業

【自主事業】

コミュニケーションのスキルアップに興味のある方を対象に、傾聴や心理学によるコミュニケーション技法の学びの場を提供し、地域で活動できるキーパーソンの育成に努めた。

概 要	参加者数等
開催回数：15 回（令和 4 年 9 月 15 日～令和 5 年 3 月 16 日） 会 場：市総合福祉センター 1 階 大会議室 内 容：傾聴講座・心理学講座 講 師：福本由美 氏（未来人財育成企業・脳活性サポート 企業 gift 代表）	37 名（内修了者 15 名） （目標 40 名）

